



阿智村産業振興公社
松浦 未洋

阿智村の皆様、初めまして。
令和7年4月1日から地域おこし協力隊として着任しました松浦未洋(まつうら さきひろ)と申します。

阿智村産業振興公社におきまして、農業研修をうけております。

兵庫県西宮市から参りました。

家族は現在も西宮市におり、妻と子どもが4人、すでに上3人は成人し、残すは高校生の末娘のみ。

末娘が大学進学すれば、妻もこちらに来る予定にしています。

永年、隣町である宝塚市です。29年間、宝塚市役所で勤務していましたが、長年の夢であった長野暮らしをするために、ご縁あってこの阿智村に参りました。

昔から山や自然が好きで、将来は長野で自然に囲まれて生活することを夢見ていました。

子育てもそろそろ落ち着くこと、新たな生活、農業の技術・知識を身に着けるには年齢的にも限界かと思いい、一念発起、市役所を早期退職し、地域おこし協力隊に応募しました。この年齢ですので、深刻な人口減少、SDGs、食料の輸入問題、子ども、自然環境、災害対策など、この国が行く末に様々思いはたくさんありますが、小難しいことは置いておいて、この文化的にも自然環境的にも魅力のある阿智村を楽しみ、引き継いでいきたいと考えています。

できれば居抜きで引き継げる農地があればと思っていますが、いろんなタイミングや思いもありますので、良い出会い、ご縁が大切であると思っています。

まずは多くの方と知り合って、少しでもかわりを持ち、阿智の文化、自然、人達を知り、阿智の一員となることを目標としていますので、より多くのことが経験できたらと思います。

現時点では梨などの果樹に興味がありますが、私で少しでも役に立つことがあれば、なんでも経験を積みたいと考えていますので、是非お声掛けください。

よろしくお願いいたします。



阿智村産業振興公社
熊谷 萌

5月も終わりが近くなり1年の半分に差し掛かっています。今年の始めに神社で宣誓した達成したいことの半分も成就できておらず、なんだか妙に心がそわそわしてしまします。こんな時は深夜近くなるまで泣きながら夏休みの宿題を解いていた小学生の頃の自分を思い出してしまいます。私のメンタルはあの頃からまだまだ成長できていないようです。似たような場数を重ね、いつの日かどんな場面に陥っても余裕を持った行動ができる人間になれたら良いなと思っています。

さて話は変わりますが、私はこの春に花桃祭でスムーズな物販ができるよう尽力しました。具体的には、

開店準備中でも購入希望の方がいればレジ対応、積極的な山菜や加工品等の商品紹介や接客、お金を預かると同時に釣り渡しをするように予測で暗算するなどです。レジをしている間や少しお客さんの波が引いた時

に公社の職員さんもパートさんの姿を観察していたのですが、やはりみなさんは販売のスペシャリストでお客様へ話しかけるタイミングや話す内容を人によって変えていたりする所が特に参考になりました。

時々、公社の対面にあった「セイナーセリー」の店主さんもおこぎの宣伝をしてくれました。店主さんはおこぎの商品紹介がとにかく上手で、店主さんが誰かお客さんにおこぎの紹介をしている間、公社のテント前は一気に人だかりができていました。商品紹介が終わったものの数秒でおこぎが10袋くらい一気に売れていったときには本当に感動してしまいました。

私も各地に足を運んで体験をしたり、いろんな人とお話したりしてもっと知恵や技術を知識として蓄えたいと思いました。話し上手で聞き上手な人を目指します！





建設農林課
小田 智

阿智村の皆様、こんにちば。

今回は、ジビエに関する取り組みについて「みどりの食料システムEXPO」に併催された「第2回ジビエ利活用・鳥獣被害対策展2025」にて、ジビエ利活用の講演に出席し学んで参りましたので、その内容を少し紹介させていただきます。

講演は、鳥獣被害対策やジビエ利活用の概況、国産ジビエ認証施設に関するものなど多岐に渡っていました。その中で「年齢層ごとに提案するジビエの栄養価値」と題する講演は、様々なライフステージで必要となる栄養素補給にジビエ活用を栄養学・食品化学の観点から提案するという内容でした。ジビエの喫食が健康にどう影響するのか興味がありましたので、その点を具体的に学ぶことができ、ジビエ活用の有用性を再認識しました。

講演を聞いて全ての年齢層の方に

有効な栄養素として、私が注目したものは「トリプトファン」です。トリプトファンは、脳内神経伝達物質でもあるセロトニンを生み出すための原料です。セロトニンは「幸せホルモン」と呼ばれていて、脳機能の維持に重要な役割を担い、トリプトファン不足で身体がセロトニン低下の状態になってしまうと「疲労感やストレスの増大」「不眠」など以外にも「便秘」や「消化不良」などの不調があらわれるとの研究があります。

トリプトファンは、必須アミノ酸の一つであり、体内では合成できないので、食事から取り入れる必要があります。鹿肉には、トリプトファンが豊富に含まれていると講演で紹介されておりましたので、前記の諸症状にお悩みの方は、食事に鹿肉を取り入れていただくことで、改善する可能性がございます。そのためにも、阿智村の皆様は手軽に鹿肉を召し上がっていただけるようジビエの商品開発や啓蒙活動に取り組んで参ります。



阿智村産業振興公社
山田 正剛

皆様、こんにちば。この原稿を執筆時には、村のあちらこちらで、きれいな花桃が咲き乱れています。桃色、白色、赤色の花々が、とてもきれいです。

私は今回、公社のスタッフとして、「花桃まつり」で販売の経験をさせていただきました。当日は、残念ながらまだ満開とはなっていませんでしたが、それでも現地には、朝早くから多くの観光客が訪れ、活気に満ち溢れていました。わずか数十年前に、小さな苗木として植えられた花桃たちが、今では日本中から、そして海外からも、多くの人を惹きつけ、感動させている。そんな光景を目の当たりにして、この素晴らしい景観を生み出し、大切に育ててこられた先人たちの、たゆまぬ努力と、その偉業に、とても感慨深い気持ちになりました。

公社では、地元の農家さんが出荷してくださった、新鮮な山菜や野菜



をメインに販売しました。正直なところ、私は、これまであまり山菜を食べることがなく、関心を持つこともありませんでした。しかし、花桃まつりでは、多くの山菜好きのお客様がいらっしゃり、山菜について楽しそうに語るのを間近で聞いていて、私も「ぜひ一度食べてみたい」と思うようになりました。特に気になっているのが、午前中で完売してしまった「コシアブラ」と、この地域で親しまれているという「おこぎ」です。いったいどんな味なのか？食べるのがとても楽しみです。